

☆☆

第36回数理社会学会大会プログラム

日時：2003年9月20日(土)～9月21日(日)

会場：慶應義塾大学文学部 第一校舎 121 教室 122 教室 124 教室

大会委員長 織田 輝哉（慶應義塾大学）

☆☆

会員の皆様にお送りしましたプログラムと、ポスターセッションの報告題目が異なっております。こちらが正しいものになりますので、ご注意ください。また、報告者の方をはじめ、ご迷惑をおかけしたこと、お詫び申し上げます。

大会参加費は以下のとおりです。

参加費：	一般（会員）	2,500 円	学生・院生（会員）	2,000 円
	一般（非会員）	3,000 円	学生・院生（非会員）	2,500 円
懇親会費	一般	5,500 円	学生・院生	4,500 円

なお、不明な点については下記へお問い合わせください。

大会事務局：〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45

慶應義塾大学文学部 織田研究室

Tel. 03-5427-1158 Fax. 03-5427-1578

E-mail: teruya@flet.keio.ac.jp

【9月19日(金)】

- 14:00 ～ 16:00 編集委員会 (北館2階 会議室2)
16:30 ～ 19:00 理事会 (北館2階 会議室2)

【9月20日(土)】

- 9:00 開場・受付開始
9:25 開会 大会委員長 織田 輝哉（慶應義塾大学） 第一校舎121教室

I. 午前の部 (9:30-12:30)

【第1部会】 移動と不平等の計量分析 (9:30-10:50) 第一校舎121教室
司会：尾嶋 史章（同志社大学）

1. 社会階層と社会移動研究の課題とは何か——開放性の測定の問題を中心に——
村瀬 洋一（立教大学） 20+10=30 分
2. 世代内移動は世代間移動にいかなる効果を有するか？
竹ノ下 弘久（慶應義塾大学） 20+10=30 分
3. 高齢期における単身世帯の増加とジェンダー
白波瀬 佐和子（筑波大学） 15+5=20 分

*****コーヒープレイク*****

【第2部会】 価値と資源の数理(11:00-12:30)

第一校舎121教室

司会: 志田 基与師 (横浜国立大学)

1. 強化学習主体による貨幣の生成

篠原 修二 (京都産業大学)

30+10=40 分

2. フーコー的権力論を語りたくなる状況に関する, 非フーコー的権力モデル

——続・ナッシュ (ハーサニ) 交渉解援用による, 権力と意味の一モデル——

桜井 芳生 (鹿児島大学)

15+5=20 分

3. 状況を複雑にしない規範としてのマクシミン~マクシミン V.S. 功利主義~

武藤 正義 (東京工業大学)

20+10=30 分

【ポスターセッション】 11:00-12:50

第一校舎124教室

1. 事象解釈の 180° 逆転と第三者判断ゲーム, 及び, 制度フィルター

香村 由紀 (無所属)

***** 12:30-13:20 昼食 *****

II. 午後の部 (13:20-16:45)

【会長講演】 (13:20-14:05)

第一校舎121教室

「選好集約論」の探求から「判断形成論」の探求へ

——民主的社会のための新たな集合的意思決定論の構築をめざして——

数理社会学会会長

富山 慶典 (群馬大学)

***** コーヒーブレイク *****

【第3-1部会】 共同性への数理的アプローチ (14:10-15:10)

第一校舎121教室

司会: 太郎丸 博 (大阪大学)

1. 社会的ジレンマ解決における他者——ゲームのリンケージと社会関係資本——

長谷川 計二 (関西学院大学)

20+10=30 分

2. 個別的信頼の非推移性による関係拡張と一般的信頼の形成

——知人数を媒介として——

辻 竜平 (明治学院大学)

20+10=30 分

【第3-2部会】 確率モデルの展開 (14:10-15:10)

第一校舎 122 教室

司会：松田 光司 (九州大学)

1. 疫学流行モデルにおける Monte Carlo 計算機模擬実験Ⅱ

～決定論モデルと確率論モデルとの差異と統計量的知見～

20+10=30 分

中村 彰 (秋田大学) ○片平 昌幸 (秋田大学)
中込 とよ子 (秋田大学) 速水 洋子 (秋田大学)
佐藤 尊範 (秋田大学) 中込 治 (長崎大学)
有澤 孝吉 (長崎大学)

2. 社会システム分析法の確率力学と展開

——現代物理学的手法のマクロ現象への応用——

20+10=30 分

○松浦 弘幸 (政策研究大学院大学)
中野 正博 (産業医科大学)
根本 哲也 (都立高等工業専門学校)

*****コーヒープレイク*****

【第4部会】 不平等の生成と評価 (15:20-16:40)

第一校舎 121 教室

司会：宮野 勝 (中央大学)

1. 高額所得のランキングは何故ベキ乗を示すのか

15+5=20 分

○山本 啓三 (摂南大学)
宮島 佐介 (中部大学)

2. 階層帰属意識の規定因の探索～自尊心と交際他者の影響～

針原 素子 (東京大学)

20+10=30 分

3. 言説空間における「公平判断」の語られ方の変遷

～朝日新聞記事 (1945 年～1999 年) の分析から～

七邊 信重 (早稲田大学)

20+10=30 分

【総 会】 16:45-17:45

第一校舎 121 教室

【懇親会】 18:00-20:00

慶應義塾生協三田食堂

【9月21日(日)】

9:00 開場

Ⅲ. 午前の部 (9:30-12:05)

【第5-1部会】 制度のシミュレーション (9:30-10:30)

第一校舎 121 教室

司会：遠藤 薫 (学習院大学)

1. ビジネスゲームのシミュレーションによる再現と検討

小山 友介 (東京工業大学)

20+10=30 分

2. 進化シミュレーションによる集団的制裁の発生——「友の敵は敵」——

中井 豊 (芝浦工業大学)

20+10=30 分

【第5-2部会】社会調査の方法論的展開（9：30-10：20）

第一校舎122教室

司会：前田 忠彦（統計数理研究所）

1. 機械学習による職業コーディング
——ルールによる自動コーディングシステムとの比較——
○高橋 和子（敬愛大学）
高村 大也（東京工業大学）
奥村 学（東京工業大学）
20+10=30 分
2. エリアサンプリング調査から見えたもの
——調査回答と住民基本台帳記載内容の照合を通して——
朝倉 真粧美（立教大学）
15+5=20 分

*****コーヒープレイク*****

【第6部会】 協力とジレンマの数理（10：40-12：05）

第一校舎121教室

司会：金井 雅之（山形大学）

1. ムカデ・ゲーム再考——後ろ向き帰納法の回避モデル——
河野 敬雄（京都大学）
15+10=25 分
2. 戦略表明効果による囚人のジレンマゲームにおける協力発生
七條 達弘（大阪府立大学）
20+10=30 分
3. 信頼ゲームと非集団モデルのダイナミクス
藤山 英樹（獨協大学）
20+10=30 分

12:05 閉会

大会委員長 織田 輝哉（慶應義塾大学） 第一校舎121教室

（備考）

1. ○印は発表者（登壇者）を示します。
2. 報告者名の後に発表・討論時間を示しています。たとえば「20+10=30 分」は、発表 20 分、討論 10 分で合計 30 分であることを表します。
3. 「抜き刷り交換コーナー」を設けます。これまでに書かれた論文・報告書・マニュアル等で配布できるものがあればお寄せください。印刷物だけでなく、自作のコンピュータ・ソフトウェアなどもどうぞ。事前にお送りいただいても結構です。「交換用抜き刷り」と表記して大会事務局（織田研究室）宛にお送り下さい。